

第4章

資料

歴代会長・副会長一覧

2022 年 1 月時点

会長

副会長

氏名／所属	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
Malcolm Bolton ケンブリッジ大学																
Robert D. Holtz ワシントン大学																
多賀谷 宏三 高知工業高等専門学校																
Limin Zhang 香港科技大学																
Fang-Le Peng 同済大学																
日下部 治 東京工業大学																
Chun Fai Leung シンガポール国立大学																
David White サウサンプトン大学																
Kenichi Soga カリフォルニア大学 バークレー校																
菊池 喜昭 東京理科大学																
松本 樹典 金沢大学																
Nor Azizi Bin Yusoff ツン・フセイン・オン・ マレーシア (UTHM) 大学																
Kenneth Gavin デルフト工科大学																

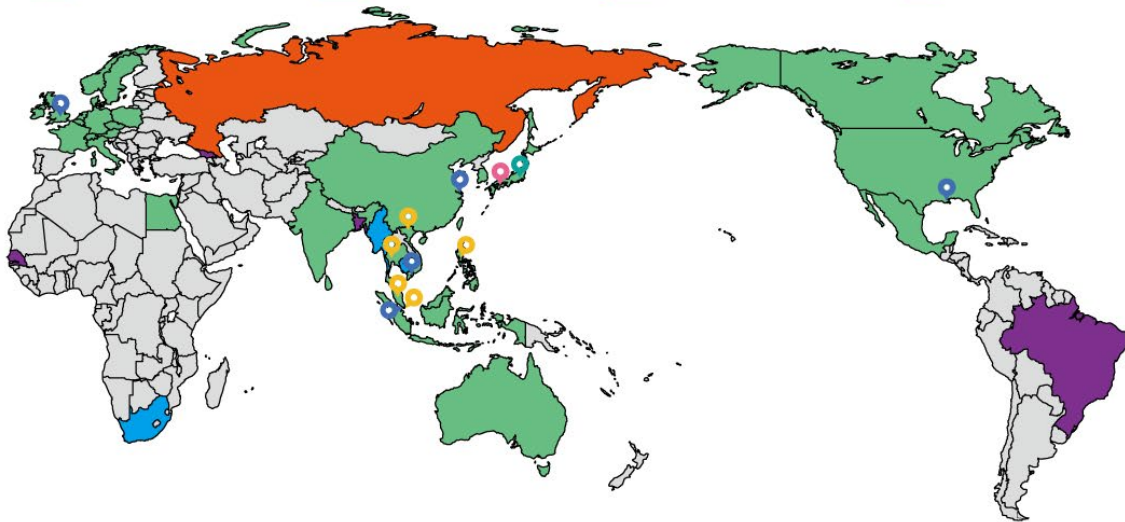
※所属は在任当時

国際的な活動

2022年1月時点

圧入工法実績（43 か国／地域）

1975-2006（緑） 2007-2011（橙） 2012-2016（青） 2017-2021（紫）



※施工実績国・地域は、技研グループと技研正規ユーザーによる実績

国際ワークショップ



5 Times イギリス、アメリカ、中国、シンガポール、ベトナム

圧入工学セミナー



12 Times 日本

圧入工学に関する国際会議 (ICPE)



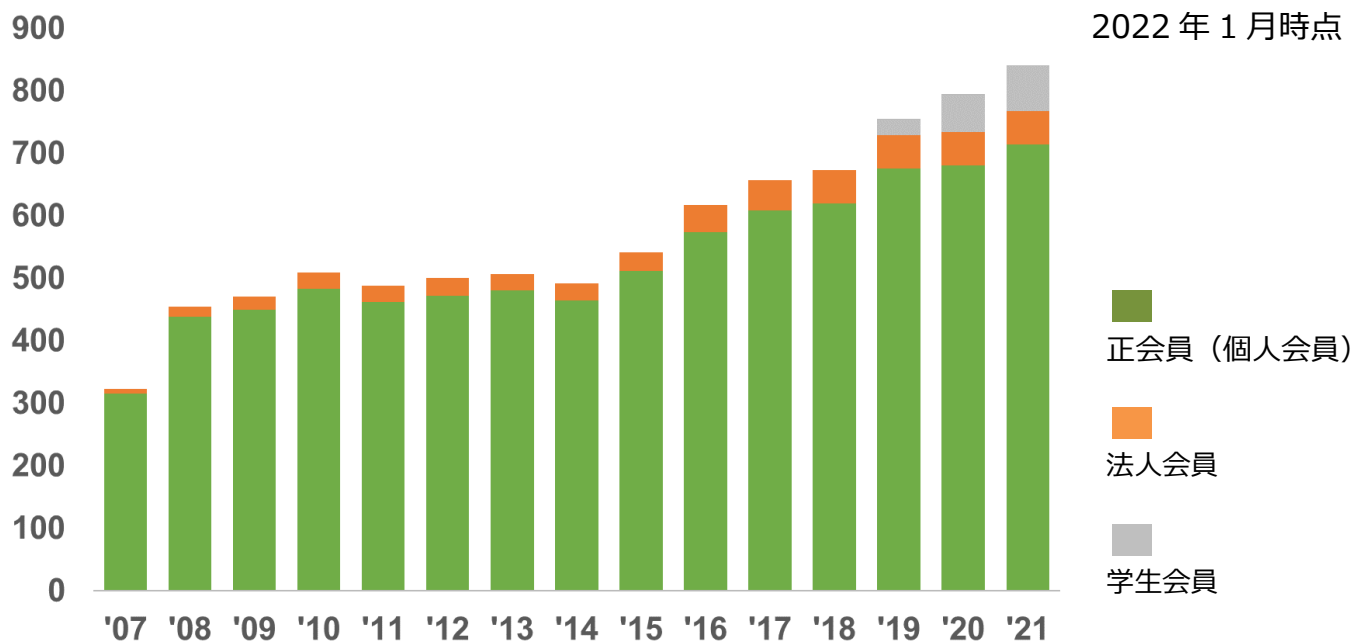
2 Times 日本

海外圧入セミナー



5 Times シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム

会員数



会員からのメッセージ



小澤 智久

株式会社小澤土木 代表取締役社長

法人会員

国際圧入学会（IPA）の創立 15 周年を心よりお慶び申し上げます。弊社は 1913 年に個人創業し、1957 年の杭打ち機導入以降は既製杭の専門工事業者として歩んできました。1990 年代に入り、弊社のサイレントパイラー第一号となる KKG130-C4 を導入してから約 30 年が経ちます。それまでは三点式杭打ち機が主力でしたが、『圧入』の魅力によって現在の保有機械設備はすっかりサイレントパイラーに様変わりしています。

『圧入』の魅力は、完成杭を反力として次の圧入杭を地中に押し込む工法原理とそれ故に機械設備が軽量コンパクトであることなど数多くありますが、私が感じるのは、シンプルに“格好が良いこと”です。ラジコン送信機でコンパクトかつスタイリッシュな圧入機を操り、様々な地盤条件や作業条件をクリアしながらシステムチックな施工をしている様子は、多くの若者を魅了します。弊社の若い社員達は、いつか自分も先輩社員達のようにサイレントパイラーを駆使して格好良く杭を圧入したいという動機で入社し、日々頑張っています。つまり、『圧入』は若者に夢を与え、技術を習得させて社会インフラを構築し、人々の暮らしの安全・安心に貢献している訳です。

IPA の活動は、現場での施工を科学的に裏付け、可視化する機能を果たされていますが、これによって『圧入』のブランド価値が高まり、若返る圧入技能者達に自信と目標を与え、圧入業界の活性化にも貢献されているものと考えます。『圧入』が世界中に広がっていく今後においては、施工技術と科学的根拠の両方が大切な要素になると思いますので、より緊密な連携によって世界中の人々を魅了する圧入工法の普及実現のため、一層のご支援をいただけたらと思います。



Changyong Wang

上海朗信機械設備有限公司 代表取締役社長

法人会員

弊社は2010年にIPAに入会して以降、IPAの学会活動を支援して参りました。10年以上の歳月にわたり、弊社は中国や東アジアにおいて圧入工法の普及を推進してきました。法人会員として、当学会の成長と発展を見届けてきました。創立から15年間にわたり、IPAは首尾一貫して圧入工法の発展のための活動を続けてきました。IPAは世界中の有識者が理論的な見識を共有するだけでなく、各国の有志が活発に議論を交わし、既存の概念や常識に囚われず研鑽を続けています。圧入工法による新たな解決方法を見出すため、IPAは日々その可能性を模索しています。

来たる15周年はIPAにとって重要な節目であり、これはまだ序章に過ぎません。そのIPAの歴史の中で、弊社は各国の著名な圧入技術の専門家やIPAを通じて育んできた人脈をさらに深めることができ、大変うれしく思います。IPAの発展に尽力されている皆様に感謝の意を表したいと存じます。IPAの成功と更なる発展に向け、今後も尽力して参ります。IPAの会員であることを誇りに思うとともに、IPAがその使命を果たす日が来ることを楽しみにしています。



前川 宏一

国際圧入学会 前理事(2007-2019)

横浜国立大学 教授

正会員

国際圧入学会設立から15年を迎え、技術開発、普及、国際会議やセミナーの開催、若手人材育成、新領域の開拓など、多方面にわたって活発なる活動が続けられ、今日に至りましたこと、心よりお祝い申し上げます。多くの技術者、研究者のたゆまない努力が当学会の興隆を支えてきたことは言うに及びません。私自身は主に鉄筋コンクリートなどの、陸上にあるインフラ構造の設計や維持管理に関わってきました。理事に就任した当初、鋼矢板、杭基礎の設計施工の知識と経験は十分とはいえませんでした。静かに動く圧入工法は大変、刺激的で、実施工も何度か見学できました。その生産性の高さは未来の建設事業の進むべき道筋を照らすものであったと考えます。また、「地下を可視化する」というメッセージは今でも心に強く残っています。

当時、交通基盤、エネルギー施設、貯蔵空間など、地下構造物の設計と施工に問題意識を持ちはじめました。IPAの中で分野や領域に縛られることなく、多くの方々から質の高い情報や経験、そして未来に向けた展開や構想の議論を共有できたことを感謝しています。国際圧入学会は本拠を日本に置くものの、設立当初から強く国際軸をもって活動されてきたことは特筆されるものです。その中で、中堅若手の技術者が成長していること、新たなテーマに果敢に取り組まれてきたことは、本学会の重要な成果だと思います。新たな潮流を主導し、インフラの信頼性向上、設計施工の生産性向上、非常時の機動力強化、カーボンニュートラルへの貢献にも活動の翼を広げていかれることを、今後とも期待しております。



Dang Dang Tung

国際圧入学会 前理事 (2016-2018)

ホーチミン市工科大学(HCMUT) 理事

正会員

国際圧入学会 (IPA) が創立 15 周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

この 15 年以上にわたり、IPA は学術的側面から圧入工法の研究を進め、世界的なネットワークを築いてきました。圧入工法の生みの親である北村会長の精神と技研グループの強固な基盤を元に、IPA により新たな枠組みが構築されてきましたが、これらは従来の経験則によるものではなく、地盤の特性による構造物の挙動などの科学的根拠に基づいたものです。また IPA は、研究分野においてその技術を必要としている様々な団体との横断的な連携を可能とする強固なプラットフォームを確立し、圧入工法の実用化に貢献しています。

我々ホーチミン工科大学との緊密なパートナーとして、2014 年には共催による第 5 回 IPA 国際ワークショップ (ホーチミン市)、2017 年には技術委員会 (TC3) が研究を進める「PFS 工法の適用条件の拡大と地震時挙動評価」に関するセミナーを開催。圧入工法を通じた社会貢献と人材育成に大きく寄与しています。

私は 2014 年に IPA に参画して以降、IPA ワークショップの主催、IPA の理事、そして 2018 年 9 月 19 日、20 日に高知工科大学 (高知県香美市) で開催された「第一回 圧入工学に関する国際会議 (ICPE)」における一般セッションの座長及び講演など、様々な役割を担って参りました。これらの貴重な経験を大変光栄に思っております。これからも IPA が社会的使命を果たし、圧入工学の研究及び教育における世界的な立役者として数々の実績を積み重ねてゆくことを楽しみにしています。そして、創立 15 周年という節目に IPA が記念式典を迎えられること心よりお祈りいたします。



S M Shafi

東京工業大学 大学院 Ph.D. 学生

学生会員

この度の IPA 創立 15 周年を心よりお祝い申し上げます。大学院では物理モデルによる軟岩へ根入れされた自立式鋼管杭の動的挙動をテーマに研究を行っています。私は 2020 年に学生会員となり、以降は技術委員会 (TC1) の委員として研究活動に参画しています。大学でのテーマとは異なる TC1 での研究活動を通じて、鋼管杭の適用可能性や実際の現場で直面している課題についてより多くのことを学びました。さらに、2021 年に開催された「第二回 圧入工学に関する国際会議 (ICPE)」において、研究成果の一部を発表する機会をいただき、参加者と意見を交換し合うことができました。

経済的発展が著しい国の一つとして、母国のバングラデシュは国際協力機構 (JICA) やアジア開発銀行 (ADB) などの様々な機関からの支援を得て、国内の経済成長を加速させるべく、空港、港湾、鉄道や高速道路などの大規模なプロジェクトを推し進めています。鋼管杭はチッタゴン丘陵地帯での道路新設をはじめとして、既存の橋梁の基礎や新たな橋梁の建設などにも適用できます。我が国の経済状況から鑑みると、コストは比較的高額となることは否めませんが、時間短縮、省スペース、省力化など、圧入工法が持つ多くの長所は、将来的にそのコストを十分に上回るものと考えています。私自身の研究と IPA の活動に携わる先生方の蓄積された知識により、バングラデシュの発展に貢献できると信じています。

法人会員一覧

2022 年 1 月時点

プラチナ会員 (2 社)



GIKEN LTD.
株式会社 技研製作所
Japan



GIKEN SEKO CO., LTD.
株式会社 技研施工
Japan

ブロンズ会員 (51 社)



Akatsuki Industrial
Co., Ltd.
株式会社 暁産業
Japan



THE BANK OF KOCHI, LTD.
株式会社 高知銀行
Japan

CHIBAKOBEX Co., Ltd
株式会社 千葉コベックス
Japan



CHOWA KOUGYOU
KYUSYU CO., LTD.
調和工業九州 株式会社
Japan



CKK GROUP
中部工業 株式会社
Japan



CITEC INC.
シーアイテック 株式会社
Japan



DAIICHI KISO CO., LTD.
株式会社 第一基礎
Japan

Daishin Kikou Co., Ltd.
有限会社 大晋機工
Japan



DAIWA-KIKO CO., Ltd
大和機工 株式会社
Japan



Endo Kogyo Co., LTD.
株式会社 遠藤工業
Japan



Fuji Tokushu Co., Ltd.
株式会社 フジ特殊
Japan



FUJIIIGUMI Co., Ltd.
株式会社 藤井組
Japan



GUAN CHUAN
Guan Chuan Engineering
Construction Pte Ltd
Singapore



Ishii Kiso-Contstruction
Co., Ltd.
株式会社 石井基礎工事
Japan

ITOCHU TC CONSTRUCTION
MACHINERY CO., LTD.
伊藤忠TC建機 株式会社
Japan



IZUMO GIKEN LTD.
株式会社 出雲技研
Japan



J Steel Australasia Pty Ltd
Australia



JFE Steel Corporation
JFE スチール 株式会社
Japan



Kajikawa Construction
CO., LTD
株式会社 梶川建設
Japan



KAKIUCHI Co., Ltd.
株式会社 垣内
Japan



株式会社 角 藤
KAKUTO CORPORATION
Japan



株式会社 カナモト
Kanamoto Co., Ltd.
Japan

Kuroda Tekkou Co., Ltd.
有限会社 黒田鉄工
Japan



Kyoeisangyo co., Ltd
共栄産業 株式会社
Japan



Maruka Corporation
株式会社 マルカ
Japan



MC Chugoku Construction
Machinery Co., Ltd.
エムシー中国建機 株式会社
Japan



MIYAZAKI KISO
CONSTRUCTION Co. Ltd
宮崎基礎建設 株式会社
Japan



Mizuho Jyuki Co., Ltd.
有限会社 瑞穂重機
Japan



NARASAKI SANGYO CO., LTD.
ナラサキ産業 株式会社
Japan



NIPPON STEEL
CORPORATION
日本製鉄 株式会社
Japan



Oobu Co., Ltd
Japan



Ozawa Civil Engineering
and Construction Co. Ltd.
Japan



RINKO KOPORATION
株式会社
リンコーコーポレーション
Japan



Sakamoto Sangyo Co., Ltd.
サカモト 産業株式会社
Japan



Sakiyamagumi, Ltd
21株式会社 崎山組
Japan



SANKOH MACHINERY
CORPORATION
三興機械 株式会社
Japan



SATO JUKI Corporation
株式会社 佐藤重機建設
Japan



SEG Corporation
Japan



SHANGHAI TRUST
MACHINERY IMPORT &
EXPORT Co., Ltd.
China



SHANGHAI TUNNEL
ENGINEERING CO., LTD.
China



SUGISAKI KISO CO., LTD.
杉崎基礎 株式会社
Japan



Takeuchi Crane Industry
竹内クレーン工業
Japan



THAI FULLMORE
CO., LTD
Bangkok



THL FOUNDATION
EQUIPMENT PTE LTD
Singapore



TUNGALOY
CORPORATION
株式会社 タングロイ
Japan



World Bless
Construction Co., Ltd
China

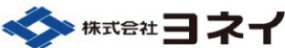


Yagojidosha Seibi Koujyou
Co., Ltd.
株式会社 矢後自動車整備工場
Japan

YOKOHAMA INDUSTRIAL PRODUCTS
JAPAN CO., LTD KINKI COMPANY
横浜ゴムMBジャパン 株式会社
近畿カンパニー
Japan



Yokoyama-Kiso Co., Ltd.
株式会社 横山基礎工事
Japan



YONEI & CO., LTD.
Japan



Zefiro Corporation
USA

社名（英語表記）のアルファベット順で掲載しています。